

現代中国学会の活動

愛知大学現代中国学会は現代中国学部設立と同時に、その教員によって組織された。現在、馬場教学部長を会長に、会員数は正会員25名、準会員7名、特別会員7名となっている。

学会の主な活動は、学会機関誌『中国21』の刊行と各種講演会・シンポジウム等の開催である。『中国21』は現代中国をめぐる総合研究雑誌として市販されており、全国の主要な書店の店頭にも置かれている。これは、一般の大学「紀要」がもつばら学内もしくは一部の専門研究者内部の限られた読者しかもっていない状況を反省し、研究成果を広く社会に向けて発信することをめざして、本学部が企てた一つの挑戦であった。毎号の特集にはバラエティに富んだテーマを設定した。また、内外の専門家に寄稿を依頼して学術的にも高いレベルを保つことを心がけながら、専門研究者以外の人にも関心を持っていただけるよう座談会やインタビュー記事にも工夫を凝らした。これまでに刊行したのは全部で29冊である（ほかに創刊準備号1冊、臨時増刊号1冊、臨時特集号1冊がある）。また、日本語版をもとに再編集した中国語版3冊があり、中国の書店で販売された。特集テーマは以下に掲げたが、10年余に及ぶ継続刊行の結果、今日では日本の現代中国に関心を持つ研究者・読者の間で専門雑誌として一定の評価をいただけるまでになったのではないかと、ひそかに自負しているところである。

また講演会・シンポジウム等の開催も活発に行った。比較的大型のシンポジウムについては年表「現代中国学部の歩み」（39ページ以下）に記したが、これらはすべて学外に公開され、多いときには200名を超える来聴者があったものもある。それ以外のものも含めて、以下にそのテーマ、講演者・出席者名を掲げた。テーマとゲストの多彩さは、現代中国学部の教育研究活動の幅の広さを示しているものと言えよう。（砂山幸雄）

【『中国21』の特集テーマ】

創刊号（1997年9月刊行）	特集「21世紀の中国」
Vol. 2（1997年12月刊行）	特集「日中戦争とは何であったのか」
Vol. 3（1998年4月刊行）	特集「中国の民族問題」
臨時増刊号（1998年6月刊行）	特集「21世紀に向けた中国の市場経済化」
Vol. 4（1998年9月刊行）	特集「香港返還後一年」
Vol. 5（1999年3月刊行）	特集「中国現代化百年—その成果と課題」
Vol. 6（1999年5月刊行）	特集「中国民俗研究」
Vol. 7（1999年11月刊行）	特集「第三世界から見た中国の対外関係」
Vol. 8（2000年5月刊行）	特集「人民共和国の五十年」
Vol. 9（2000年5月刊行）	特集「五四運動と現代中国」

Vol. 10 (2001年 1 月刊行)	特集「二十一世紀の日中関係」
Vol. 11 (2001年 3 月刊行)	特集「現代中国映画研究」
Vol. 12 (2001年 6 月刊行)	特集「中国法の構造転換」
Vol. 13 (2002年 3 月刊行)	特集「義和団百年と現在」
Vol. 14 (2002年10月刊行)	特集「中国共産党の八十年」
Vol. 15 (2003年 3 月刊行)	特集「中国古典思想・文学」
Vol. 16 (2003年 5 月刊行)	特集「WTO 加盟後の中国経済と日本」
Vol. 17 (2003年11月刊行)	特集「華僑・華人研究の視座と方法—華僑学の試み」
Vol. 18 (2004年 3 月刊行)	特集「中国西部大開発」
Vol. 19 (2004年 5 月刊行)	特集「内モンゴルはいま—民族区域自治の素顔」
Vol. 20 (2004年 8 月刊行)	特集「中国演劇におけるジェンダー」
Vol. 21 (2005年 3 月刊行)	特集「東アジアがめざす経済統合／FTA」
Vol. 22 (2005年 6 月刊行)	特集「日中相互イメージの交錯」
Vol. 23 (2005年12月刊行)	特集「シノロジー(古典中国学)の現在」
Vol. 24 (2006年 2 月刊行)	特集「ポップ・チャイナ」
臨時特集号 (2006年 3 月刊行)	特集「日中関係のゆくえをさぐる」
Vol. 25 (2006年 9 月刊行)	特集「漢民族をどう見るか」
Vol. 26 (2007年 1 月刊行)	特集「中国農業の基幹問題」
Vol. 27 (2007年 3 月刊行)	特集「日本語と中国語—語学教育を考える」
Vol. 28 (2007年12月刊行)	特集「東洋のキリスト教」
Vol. 29 (2008年 3 月刊行)	特集「旅遊中国—産業としての観光、文化としての観光」



【現代中国学会主催講演会】（講師肩書は当時のもの）

◇1998年度

- 1998年5月30日 「江沢民・朱鎔基体制の中国」 上村幸治氏（毎日新聞外信部）
- 1998年6月6日 「陳独秀在中国近現代史上的作用和地位」
唐宝林氏（中国社会科学院近代史研究所研究員）
- 「楊度的留日経験及其政治生涯」
張玉法氏（中国研究院院士、中央研究院近代史研究所研究員）
- 1998年6月27日 「中国の現状と課題—日本の対応」 藤野文哈氏（伊藤忠商事常務取締役）
- 1998年11月18日 「中日外資政策の比較研究」 楊棟梁氏（南開大学日本研究センター所長）
- 1998年11月19日 「クリントン訪中後の米中関係」 潘国華氏（北京大学国際関係学院副院長）
- 1998年12月12日 「中国の過去・現在・未来」 石源華氏（復旦大学歴史学教授）〈法学会との共催〉
- 1999年3月18日 座談会「我的老爺一聞一多」 聞黎明氏（慶応大学法学研究科訪問教授）

◇1999年度

- 1999年7月1日 「五四新文化運動と魯迅」 陳漱渝氏（北京魯迅博物館副館長）
- 1999年9月29日 「海峡兩岸の中国近代研究潮流」 張海鵬氏（中国社会科学院近代史研究所所長）
- 1999年12月1日 座談会「中医学術界における文革研究の現状について」
印紅標氏（北京大学国際関係学院副教授）
- 1999年12月3日 「女性差別撤廃条約20周年記念講演会 明日をイメージする—この条約は、あなたは」
久保田真苗氏（元経済企画庁長官）〈法学部との共催〉
- 1999年12月21日 「勝負難知—当代中国正在進行の一場思想論戦」
楊天石氏（中国社会科学院近代史研究所研究員）

◇2000年度

- 2000年6月15日 「走出殖民地的新馬後殖民文学」 王潤華氏（シンガポール国立大学中文系教授）
- 2000年7月5日 「談中国共産革命的幾個問題」 陳永發氏（中央研究院近代史研究所研究員）
- 2000年10月25日 「1960年の毛沢東の国際戦略」
楊奎松氏（中国社会科学院近代史研究所研究員、『百年潮』副編集長）
- 2000年11月16日 「南洋文化—邁向二十一世紀的馬來西亞華人文化」 林水氏（華社研究センター主任）

◇2001年度

- 2001年6月21日 「村上春樹から魯迅まで」 藤井省三氏（東京大学文学部教授）
- 2001年7月12日 「民国の司法から戦後の漢奸裁判を考える」
羅久蓉氏（中央研究院近代史研究所副研究員）
- 2001年10月24日 「近衛篤磨と東亜同文会」 栗田尚弥氏（国学院大学文学部講師）
- 2001年12月7日 「香港映画—50年代からウォン・カーウァイまで」 黃淑嫻氏（浸会大学映画学科講師）

◇2002年度

- 2002年6月12日 「現代中国における客家農村社会の変容—江西省南部客家農村の事例をもとに」
麻国慶氏（北京大学社会学人類学研究所助教授）
- 2002年10月25日 「日中関係30年を回顧して」 丁民氏（中日関係史学会名誉会長）

◇2003年度

- 2003年5月7日 「盧武絃韓国大統領と平和繁栄政策」 柳洲烈氏（駐名古屋大韓民国領事館）

- 2003年10月11日 「映画『延安の娘』—中国の大地と人」 池谷薫氏（運ユニバース製作会社）
 2003年11月25日 「わたしたちは中国とどう向き合うべきか—最近の中国情勢と日中関係」
 谷野作太郎氏（前中国駐在日本国大使）
 2003年12月19日 「中日両国はこれからどう付き合うべきか」
 呉江浩氏（在日本中国大使館政治部参事官）

◇2004年度 *連続講座「民族」

- 2004年5月11日 「東亜同文書院大学と愛知大学」 小崎昌業氏（霞山会特別顧問、愛知大学監事）
 *2004年5月19日 「国家と少数民族問題」 野田正彰氏（関西学院大学教授）
 *2004年6月2日 「台湾原住民族と私—日本のために戦った人々」 柳本通彦氏（アジアプレス）
 *2004年7月7日 「民族と国家—モンゴル族と回族から読み解く現代社会」
 高明潔氏（愛知大学現代中国学部助教授）
 2004年10月23日 「中国の派閥」 高橋博氏（中国問題研究家）
 *2004年12月10日 「漢族」 周星氏（愛知大学国際コミュニケーション学部教授）
 2005年3月29日 「中国経済の発展と中日両国の経済協力」 許同茂氏（在日本中国大使館公使参事官）

◇2005年度

- 2005年6月10日 シンポジウム「いま、日中関係を考える—対立を乗り越えるために」
 2006年3月18日 シンポジウム「日台相互イメージの錯綜—「かわいい系」・映画・コマーシャル」
 2005年9月22・23日 「21世紀における日中関係と中国の権力構造」
 高華氏（南京大学・華東師範大学教授）〈日本現代中国学会との共催〉
 2005年10月10日 「漢族の民俗宗教—中国民俗学会で受賞して」
 渡邊欣雄氏（東京都立大学教授）〈ICCSとの共催〉
 2005年10月24日 「ポスト冷戦期の日中安全保障政策—勢力均衡から追従へ」
 ラインハルト・ドリフテ氏（イギリス・ニューカッスル大学名誉教授）

◇2006年度

- 2006年7月12日 「沖縄の中の東アジア」 又吉盛清氏（沖縄大学教授）
 2006年10月25日 「中国各民族の花嫁衣裳とその物語」 屈雅君氏（陝西師範大学教授）
 2006年12月4日 「魯迅『藤野先生』再読—日本留学の原点を見つめ直す」
 巖安生氏（北京日本学術研究センター教授）
 2006年12月9日 「中国・村落民俗誌の現状と課題」 葉涛氏（山東大学教授）
 2006年12月22日 「香港映画と香港文化」 梁秉鈞氏（香港・嶺南大学教授）
 2007年1月29日 「食から見た最新台湾事情」 哈日杏子氏（漫画家・エッセイスト）

◇2007年度

- 2007年10月26日 「農民ドキュメンタリー「無米楽」について—台湾における重層な記憶」
 黎湘萍（中国社会科学院文学研究所研究員）
 2007年11月27日 「映像の中の現代中国政治—記録映画をどう見るか」
 長井曉氏（NHK放送文化研究所主任研究員）
 2008年2月25日 「中国における冷戦史研究と課題」 牛大勇氏（北京大学歴史系主任）
 2008年3月3日 「作為思想資源の魯迅在当代中国与東北亜」 王風氏（金沢大学文学部客員教授）